



Title	形象 3号 編集後記
Author(s)	三木, 順子
Citation	形象. 2018, 3, p. 79-79
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75813
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

第三号の編集が終わり、いよいよ印刷の時期を迎えることとなりました。今号では、初めて特集を組むこととなりました。

今号も、印刷は修美社さんにお世話になります。すでにたくさんが無理をきいていただき、山下昌毅さんと永田和浩さんには年末・年始のお忙しい時期にご迷惑をおかけしておりますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

なお、二〇一七年は、三月に第二回形象論研究会を開催しました。ゲストとしてメルロ＝ポンティのイマージュの問題についてお話くださいました加國尚志さん、デュフレンヌの想像力についてお話くださいました川瀬智之さん、レヴィナスのイマージュ論についてお話くださいました石田圭子さんに、改めてお礼申し上げます。本号の特集論文は、このときの発表と議論に基づくものです。石田圭子さんは、この回より、形象論研究会の新メンバーとなりました。またこの回では、大阪大学の大学院生、田添聖史さんと河口篤さんが、それぞれの研究についてご紹介くださいました。ありがとうございます。二〇一八年の二月三日（金）・二四日（土）に、京都工芸繊維大学にて、第一三回研究会を開催いたします。詳しくは、同封のフライヤーをご参照ください。ここでの議論に基づいて、次号の『形象』でも特集を組む予定です。

本号を手にとってくださる読者の方々から、忌憚のないご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。形象論研究会の綱領は、毎号、巻頭に掲載します。形象論研究会に興味を持たれた方は、どうぞご遠慮なくメンバーまでお問い合わせください。

〔三木順子〕